

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220104	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	低炭素社会をもたらす単層カーボンナノチューブを利用した平面発光デバイスの開発	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	田路 和幸（東北大学・大学院環境科学研究科・教授）

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、従来研究代表者が発見した SWCNT（単層カーボンナノチューブ）の高純度化に関する処理技術を用い、平面発光デバイスを開発することを目的としている。現段階で、各要素技術の開発は概ね成功している。しかし、平面発光デバイスにつなげるためには、現在の試験パネルの大きさを拡大しなくてはならず、そのために何が必要で、どのように対処する必要があるかが明確に示されていない。研究代表者らが成功した高純度化 SWCNT のネットワークの大型化、また大型パネル用の素子での SWCNT の並行分散法などについて、更なる検討が望まれる。</p>		